

五行歌会

ひ

め

ぼ

た

る

通

信

第34号

編集・発行

ひめぼたる五行歌会

ひめぼたる五行歌会についての問い合わせは、下記までお願い致します。

代表・事務局=果林子(山口)

TEL&FAX

0195-22-4880

五行歌とは？

日々の暮らしのひとコマや、感じたこと、考えていることなどを、五行で表現する文芸です。

約束事は、普段の言葉づかいで、自分のおもいを五行で表現する。一行は一息で読める長さにする。この二つだけです。

五行歌アルバム #4

じーらん

1月うた会 一席 浪岡末山 二席はじーらん、水無月子

一席 二戸 浪岡末山

三席 二戸 ルナ

北海道 園蝸

ことばにしないと
逃げていつてしまう
ことばにすると
どこかちがう気がする
思いの不思議

二席 二戸 じーらん

お寺へ元朝参り
余計な事は考えず
一礼したら
一気に
ゴー——ン！

二席 軽米 水無月子

近ごろ
「よいしょ！」
が無二の友
その友に後押しされて
今日も私は生きている

二戸 果林子

初雪かずら
名前が好き
寒さと共に
葉が色あいを増す
新春を告げる

赤と緑の光の粒が
地面でじゃれあう
駅のイルミネーション
楽しさに
わたしも感染

二戸 山田憲路

私が裏切らんかぎり
裏切らんよ
この人は
トルコキキョウの苗に
そう声を掛ける

山田憲路 うた読み

2025年1月25日(土)

暮れのクリスマススライプ
ボク流のマラカス・スタイルに
「すっげえ カッコいい」
見知らぬ初老男性の感想
莫迦♫ またも有頂天

一席の浪岡末山さんのうた。形を持たない思いは、時に逃げ水。時に陽炎。本当の思いというものは、決して言葉にできないものなのか。
二席のじーらんさんのうた。元朝にお寺参り。一礼して鐘を鳴らす。煩惱や邪気を払い落せば、一瞬にして悟りの境地。
同じく二席の水無月子さんのうた。「よいしょ、よい

しょ」と、自分に声を掛けながら、人生の坂道を登る。これからも、無二の友と生きていく。

三席のルナさんのうた。名前に惹かれ、手に取った初雪かずら。共に冬の寒さを耐え、温かな春を迎える。

果林子さんのうた。駅のイルミネーションに誘われて、クリスマスに舞い降りた双子星。楽しさの感染経路は、ゆめ星雲の思いやり星。

じぶんのうた。元日に見舞われた能登の震災。大切なものを失つても、トルコキキョウの成長を信じ抜く。

園蝸さんのうた。誰もが浮かれるクリスマス之夜。「カッコいい」の誉め言葉が、快樂のツボを一押し。

ぼたるの伝言板

カシオ・ペーF M(77.9MHz)
「かだれ・ば！」では、ひめぼたるのミニコーナー放送中です。
番組は、インターネットで聴くことも出来ます。

■放送日 毎週月曜日
午後6時、午後6時30分
土曜日(再放送)
午前8時30分、9時

※ひめぼたる五行歌会では、新たな会員を募集しています。ご興味があれば、見学だけでも大歓迎です。

■活動日 毎月第4土曜日
午後2時、4時
(10、3月、午後1時30分、3時30分)

■場所 二戸中央コミュニティセンター
■会費 月千円



2月うた会 一席は浪岡末山 二席に果林子

一席 二戸 浪岡末山

真鱈のあら汁が
冬の家庭料理の
最高のごちそうだった
ぬくもりのあった
貧しさ

二席 二戸 果林子

好みじゃないと
思っていた演歌
「北の宿から」
ロズさんでみる
春遠のく夜

三席 軽米 水無月子

今はなき
歌手・俳優コメディアンが
大集合して盛り上げた
過去の紅白歌合戦
再放送にドキめく中学生の私

二戸 ルナ

大通りから路地へ
空き地あり
うん？ 2度見した
友の家も思い出も
消えた



二戸 山田憲路

この冬
欠かせなくなつた
ハンドクリーム
毎日祈るように
手のひらをいたわる

二戸 じーらん

では
ニヤがつ
ニヤニヤー ニヤンにち
ひめぼたるうた会を
はじめます

北海道 園蝸

雑文集の感想あれこれ
ある女性道議は
「絵心 ステキ」と
とんだ誤解です！
ボクは全て「下心」

山田憲路 うた読み

2025年2月22日(土)

一席の浪岡末山さんのう
た。貧しさの中、肩を寄せ合
い、家族で囲んだ真鱈のあ
ら汁。そこには、何ものにも
代えがたい、ぬくもりがあつ

た。

二席の果林子さんのう
た。「あなた変わりはな
いですが」と、阿久悠作詞の歌
詞に滲む女心。思わずロズ
さんだ演歌には、冬景色が
良く似合う。

三席の水無月子さんの
うた。テレビのブラウン管の
中で、スターという異名が
光り輝いていた時代。あの
頃のトキメキが、中学時代
を呼び覚ます。

ルナさんのうた。ぽつかり
と失われた空き地にありし、
友との思い出。建物もまた、
思い出を宿す一冊のアルバ
ム。

じぶんのうた。突然の手
荒れに見舞われた、今年の
冬。手のひらと共に、乾いた
心にも、ハンドクリームで潤
い。

じーらんさんのうた。猫
の日に合わせた、うたによる
粋な計らい。猫語の開会の
挨拶に、「にやー」と応え、猫
の手で頬を搔く。

園蝸さんのうた。絵心、こ
こにあらず。水彩画のよう
に滲むのは、嘘偽りのない下
心。

特集「恋のうた」

二戸 ルナ

柳刃包丁が
意志を持つてよう
魚を捌いていく手元
「うわー きれい」
あなたとのほじまり

北海道 園蝸

まさかハグの奇襲とは
憧れの♀の不意打ち
その場は何とビルのロビー
テキの心の深化・進化
ボクはやはり脳足リン

十和田 ひさし

体の中
まん中に
お月さまの
命を抱いている
女 見とれてしまう

軽米 水無月子

ザタイガースの
解散コンサート
テレビで見た後
押し入れにこもつて泣いた
中学生の恋心

二戸 果林子

クラス対抗の
苦手な球技
応援してくれるのは
うれしいけど
君は審判だから

二戸 じーらん

ライターを切らし
ガスコンロから
タバコに火をつける
ガサツな女の
斜め45度

二戸 山田憲路

けして癒えぬ傷口が
かさぶたになるまで
手当てをするよ
君がもう平気だよつて
いつか言えるように

二戸 浪岡末山

五十年
会わなくても
恋だつたと
思いこめる
幸せ

花

風

風によつて花粉が運ばれて
受粉する風媒花。会員のつづ
「やきが風に乗り、通信を読
んでくれた方々へ届きますよ
うにと、願いを込めました。」

五月五日(立夏)にオダマキ
の蕾が一輪咲きました(ひ)。
夕方さわやかな風に吹かれ
ています(果)。冬からいきな
り夏に...? 今年の春、あまり
にも短過ぎ!(水)。盛岡の
桜吹雪の魅せられて、帰つてき
たら風邪をひく(山)。カエル
の鳴き声もBGMですね(じ)。
朝の光をあび、今日も元気を
もらう(ル)。庭の草取り、が
んばっています(末)。